

事例No.7

事業名	急傾斜地崩壊対策事業	事例キーワード 既存木の保全
事業担当機関	雄勝地域振興局 建設部 河川砂防課	
事業期間	H13～H18	
実施場所	雄勝郡 皆瀬村 不動滝	
事業概要	全体事業費	230百万
	工事概要	全体延長L=130m 特法枠工 A=1,251㎡ 補強土工A=208㎡
	事業の目的	当地区は、温泉旅館や従業員寮を含む保全対象人家10戸及び、がけ下の一級河川皆瀬川を含む急傾斜地である。さらに、栗駒国定公園内にあり、周辺は小安峡と呼ばれ大噴湯や風光明媚な景色が広がる観光地であることから、自然景観への影響を極力少なくすることを目的に、大間隔法枠工による樹木の保存や在来種の自生を促す植生工により事業を実施するものである。また、保全区域内の村道は緊急時には避難場所（鶴泉荘）への経路であることから、斜面を整備することにより確実な避難路を確保することが可能となる。
内容 環境 配慮 の 施 工 後	1. 当地区が国定公園内にあることから、事業着手前に自然保護課と協議し、現在斜面にある既存木を極力残せる工法（大間隔法枠工）で全体計画した。 2. 毎年度、工事着手前に、工区ごとに斜面の伐採計画をもって自然保護課と協議をした後に工事着手している。 3. 現場作業について、請負業者への当地区の自然環境についての周知徹底をし、共通の目的を認識できるようにしている。	
の施 工 後	通常工法より多くの既存木を残すことができ、周囲との景観を損なうことなく斜面を保護している。	

図面、写真、説明

雄勝郡 皆瀬村 不動滝 1号 急傾斜地崩壊対策事業



着手前状況。
通常法枠工では、殆どの既存木が伐採される。



既存木を残している。
将来的には枠内に自然緑化も期待できる。

